

第2節 届出と提供の状況

平成13年1月～12月の1年間に、金融機関から12,372件の疑わしい取引の届出があった。当庁では、これらの情報を整理・分析し、そのうちの6,752件の届出に含まれる情報は犯罪捜査に資すると認められたため、捜査機関等へ提供を行った。

疑わしい取引の届出件数の推移（暦年ベース）

暦年	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13
届出件数(件)	9	13	1,059	7,242	12,372

(注) 12年1月までは旧「麻薬特例法」に基づく届出、12年2月以降は「組織的犯罪処罰法」に基づく届出の件数である。

業態別疑わしい取引の届出件数（平成13年）

	件	%
銀行、信用金庫、信用組合	11,020	89.1
証券会社	131	1.1
保険会社	26	0.2
その他	1,195	9.7
合計	12,372	100.0